

# 無名の新人ニュース 第 2 号



## 議会活動報告 一般質問

**一般質問とは？** 市議会議員には定例会ごとに 60 分の一般質問の時間が与えられます。この一般質問では、各議員は市の行政事務全般について自由に質問を行なうことができます。「政治家になって何がしたいの？」という問いの答えは一般質問に表れるといっても過言ではありません。ということで、「無名の新人ニュース」では越川雅史の一般質問をご紹介します。YouTube の KoshikawaChannel と併せてご覧いただくことをお勧めします。

### 6 月定例議会 一般質問の解説

選挙後初の定例会となる 6 月定例会において、私は市議会議員として初めて一般質問を行ないました。選挙戦では「元気で夢のある市川を作っていこう!」と呼びかけていたため、質問でも「夢」と「元気」をキーワードに臨みました。

「夢」については、「小中学校では周囲に自分の将来の夢を語ると馬鹿にされてしまう風潮があるから、近頃は将来の夢を持たない若者が多くなった」と問題を指摘した上で、「学校教育では学問を教えることも重要だが、**子供たちの夢を育む視点も重要だ!**」、「すべての子供たちが夢や目標を持つことができたら、自ずと教育レベルも向上するのでは?」との自身の見解を示し、学校教育部長より「今後は中学校ブロックを核に**同じ夢を持つ子供たちの交流を深められるよう**に取り組む」との答弁を引き出しました。

「元気」については、「市川市は転出人口が多いが、こうした方々にも普通なお店や思い出の場所が市内にたくさんあるはずだから、**市川市に遊びに来てもらう機会を設ける**ことができれば、経済需要の喚起につながるのではないかと」の自身の考えを披露し、「学校の多い市川だからこそ**同窓会支援に力を入れるべきだ!**」、「転出後数年経過した人々を対象に、新しい市川駅や再開発後の本八幡などを見てもらう市内ツアーを企画すれば、市内での食事や買い物の需要が高まるはずだ!」と施策を具体的に提案しました。

「詳細は Web で!」は東京ガスの CM ですが、YouTube KoshikawaChannel にて実際の質問の様子をご覧いただけます。

質問 通 告 写

- 文教都市いちかわがすべき取り組み
- いちかわを元気なまちにするために
- 国分川調節池上部活用基本計画
- 危機管理態勢
- 市民に対する広報・周知活動

### 9 月定例議会 一般質問の解説

“市川を明るく楽しく盛り上げる”観点から、市川市の公式キャラクターについて質問しました。「市川市にはマナー条例のキャラクターであるマナリンをはじめ複数のキャラクターが居るけれども、イマイチ知名度が低く盛り上がり欠ける。賞金を設けて子供たち、小中高校生、一般・社会人の部から**キャラクターデザインを公募し、選抜総選挙**によって公式キャラクターを決めれば文化のまち市川は盛り上がるのではないかとそして、**落選した作品も美術館など市の施設に展示**すれば、ご家族連れ立って観に行ってお土産を下さるだろうから賞金の原資も回収できるし、応募者にとっても楽しい思い出になるのではないかと? 例えば、市川の梨を売り込むための“**なっしー**”や行徳の海苔を売り出すための“**のりピー**”など、“これぞ! 市川!”といったキャラクターがあっても良いのでは? **市のホームページや広報誌などは多くの人には読まない**のだから、市の情報の周知にはキャラクターが有効なのではないかと?」と提案をしたところ、**議場は笑い**で包まれましたが、企画部長より「キャラクターを用いた広報活動等は有効であるから、ご指摘頂いた手法も含めて**市民の関心を喚起するような活用方法を検討**していきたい」旨の答弁を引き出すことができました。

「詳細は Web で!」は東幹久ですが、YouTube KoshikawaChannel にて実際の質問の様子をご覧いただけます。

質問 通 告 写

- 市川市の公認キャラクターについて
- 市民とのコミュニケーションについて
- 観光政策について
- 災害対応について

私を見掛けたら「なっしー」とお声掛けください!



## 12 月定例議会 一般質問の解説

越川雅史は**米国公認会計士**の資格を有する**現役経営コンサルタント**です。多くの方から「会計・経営のプロとしての視点を示して欲しい!」と、ちょっとハードルの高いご要望を頂いておりましたし、6 月と 9 月はどちらかと言えば柔らかいテーマが中心でしたので、「行政サービスの充実と財政規律の二律背反」という**超硬派な質問**に挑戦しました。

「二律背反」と言うど難しく感じられるかと思いますが、要は、お金を使い過ぎれば財政は破たんするかもしれないけど、お金を使わなければ行政サービスを充実させることができない訳で、しかも、歳入は減る傾向にあるにもかかわらず、歳出が増える傾向にある訳だから、**市川市は一体どうすれば良いのでしょうか?**というのが質問の趣旨です。

財政部長の答弁は「財政状況は厳しいけれども、必要な施策は実施していく。そのために事業の見直しも行っていく。単年度に支出が突出することのないよう計画的に予算編成を行う」旨のものでしたが、これに対して越川雅史は「果たして本当にそんな上手くいくのでしょうか?」との疑問を呈し、その後の質問と答弁のやり取りを通じて以下の問題点を浮き彫りにするとともに、その改善のための処方箋を示しました。

- 市が裁量に基づいて実施している単独事業の総数は少なくとも 200 乃至 300 程度は存在するはずだが、**市はその数を把握していない**。また、市の単独事業に供されている金額も数百億円に達するはずだがその**金額を把握していない**。まずは市が裁量に基づいて実施する単独事業数とその予算規模（事業費 + 人件費 + 諸経費等）を明らかにして欲しい。
- 企画部が現在実施している事業の見直しは重点施策の 109 項目に限られており、**対象範囲と金額規模において不十分**ではないか? また、財政部は「実施から 10 年を経過した事業はすべて見直している」旨の答弁を行ったが、**10 年超では遅過ぎる!**
- 市が裁量に基づいて税金を使って事業を実施するには、直近の民意で選ばれた市長と議員が責任を持つのは当然**のこと。市単独事業とその予算規模をリスト化し、市長と議員に配布するとともに、市長と議員はその任期である 4 年のうちに継続か見直しか廃止かといった**勇気ある決断**をすることが求められる。

とまあ、これ以上書くと誰も読んでくれなさそうなので止めますが、財政部長からは「公開を前提にリストを策定する」旨のご答弁を頂きました。これが実現すれば、**従来は明らかにされていなかった市川市の単独事業の全貌が市政史上初めて明らかになるため**、「画期的で意味のある質問だった」と評価してくださる方もいらっしゃると思います。

そして、最後に「事業を廃止・縮小するだけが能ではなく、**ふるさと納税を推進すれば市川市外から寄付を集めることができる**。転出人口が多い市川市なら十分に可能だ!」と、**更なる財源の確保も提案**し、財政部長並びに市民部長より前向きな答弁を引き出しました。

「詳細は Web で!」は楽しんごですが、**YouTube** KoshikawaChannel にて実際の質問の様子をご覧いただけますし、財政にご興味のある方には是非ともご覧いただきたい…。

### 質問 通 告 写

- 行政サービス、施策の充実と財政規律に関する市の認識について
- 新たな歳入の確保について
- 医療救護所について

## 平成 24 年の誓いとお挨拶

早いもので議員活動 2 年目を迎えます。議員活動 1 年日は、

- “日本を元気にするためには地域を元気にしなければならない!”、“日本は日本の良さを育むべきであって、安易にアメリカ化を進めてはならない!”との信念を持って、地域社会の絆を重視し、過度に格差が開かない社会の実現を目指して全力で活動して参りました(国政で例えれば、対米従属と消費税増税、TPP には反対です!)
- また、政党所属と無所属の間には様々なハンディがある中で、“既存の政党には加わらない”、“必要な資金は自分の才覚で稼ぐ!”との気概を持って、米国公認会計士としての仕事と両立させながらビジネスマン政治家として働いて参りました。

確かに様々な苦労があるのは事実ですが、皆様のご理解とご支援があれば、今後も信念と気概を貫いていくことは可能であると思っておりますし、政治家にはそんな心意気が求められているのだと信じて、自らを奮い立たせて日々精進しているところです。

議員活動と議会活動にも少しずつ慣れて参りましたので、中断を余儀なくされておりました駅頭での活動やご挨拶廻りにも力を入れ戻していきたいと考えております。

引き続き全力で働いて参りますので、更なるご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

平成 24 年元旦 無名の新人 越川まさふみ

私を見掛けたら「こっしー」とお声掛けください!

